

アイヴァンホーから馬連総流し

今回のジャパンカップは、JRAとロンジン社の提携により、「ジャパン・オータムインターナショナル ロンジン賞 第34回ジャパンカップ」(GI)と名称変更された。これにより、ロンジンの「コンクエスト クラシック」のステンレススティールとゴールド製のクロノグラフがイベントの公式時計になった。

そこで、「コンクエスト クラシック」にちなんで、ドイツ最強馬アイヴァンホーを買う。アイヴァンホーは、ウォルター・スコットの歴史小説「アイヴァンホー」に由来する馬名で、主人公のアイヴァンホーは十字軍遠征に参加していたサクソンの騎士である。アイヴァンホーが活躍したのは、1066年の「ノルマン・コンクエスト」の時代。

というわけで、「コンクエスト」を、今回のジャパンカップのキーワードとして、この馬を指名する。

結論：1枠2番のアイヴァンホーから馬連総流し。1枠から枠連総流し。



なお、ジャパンカップでゴール後、場内がシーンとして「時計が止まった」状態になったことがある。時計のロンジンが冠名になったので、「時計が止まった」状態が再現されるかもしれない。

つまり、まさかの馬が勝って、誰もが言葉を失ったという状態が起こる。

思い出すのは、1984年、カツラギエースが逃げ切ったとき（シンボリルドルフ敗戦）。1995年、ドイツ馬ランドが先行抜け出しで勝ったとき（ナリタブライアン、ヒシアマゾン敗戦）。

2003年タップダンスシチーが逃げ切ったとき（シンボリクリスエス敗戦）などだ。

いずれも、逃げ切りか先行抜け出しである。

今回、人気馬は、すべて差し、追い込み馬。そこで、逃げるサトノシュレン、2番手タマモベストプレイが来ると、「時計が止まった」状態は確実。この2頭の単・複を押さえておきたい。

*なお、さらに詳しくはメルマガで。

■奇才3人衆【松井政就、山田順、田畑良彦】による「驚天動地」馬券。

<http://foomii.com/00077>

・「今週の重賞予想と買い目」：毎週土曜日朝10時までに配信

・「今週の結果報告&回顧」：毎週月曜日朝10時までに配信

